

新

旧

県土整備局公共工事グリーン調達基準

県土整備局公共工事グリーン調達基準

1～5 (略)

1～5 略 (略)

附 則
(略)

附 則
(略)

この基準は、令和4年10月5日から適用する。

(追加)

別表第1～別表第7 (略)

別表第1～別表第7 (略)

別表第8 認定対象品目の評価基準(第3項第1号関係)
(略)

別表第8 認定対象品目の評価基準(第3項第1号関係)
(略)

新旧対照表

新

品目名：再生コンクリート二次製品

①評価対象資材

表3-1に掲げる製品の規格及び種類であって表3-2に掲げる再生資源を含有したJISでI類又はII類に区分される再生コンクリート二次製品を対象とする。

表3-1 再生コンクリート二次製品の規格及び種類

JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品 I類

大分類	小分類	寸法・規格等	
舗装・境界ブロック類	境界ブロック	地先境界ブロック	A B C
		片面歩車道境界ブロック	A B C
		両面歩車道境界ブロック	A B C
ブロック式擁壁類	積みブロック	コンクリート用積みブロック（滑面、粗面）	A 長方形 250×400×350 mm A 長方形 300×450×350 mm

JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品 I類

大分類	小分類	寸法・規格等				
暗きよ類	鉄筋コンクリートボックスカルバート	(単位：mm)				
		600×600	700×700	800×800	900×600	900×900
		1000×800	1000×1000	1000×1500	1100×1100	
		1200×800	1200×1000	1200×1200	1200×1500	
		1300×1300	1400×1400	1500×1000	1500×1200	
		1500×1500	1800×1200	1800×1500	1800×1800	
		2000×1500	2000×1800	2000×2000	2200×1800	
		2200×2200	2300×1500	2300×1800	2300×2000	
		2300×2300	2400×2000	2400×2400	2500×1500	
		2500×1800	2500×2000	2500×2500	2800×1500	
		2800×2000	2800×2500	2800×2800	3000×1500	
		3000×2000	3000×2500	3000×3000	3500×2000	
		3500×2500				
		マンホール類	マンホール側塊	マンホール側塊 斜壁	600A 600B 600C 600D 900 1200	
マンホール側塊 直壁	900A 900B 1200A 1200B 1500A 1500B					
路面排水溝類	U形側溝 (旧 JIS A 5345)	上ぶた式U形側溝 (本体)	1種	150 180 240 300A 300B 300C 360A 360B 450 600		
		上ぶた式U形側溝 (ふた)	1種	150 180 240 300 360 450 600		
			2種	150 180 240 300 360 450 600		
	L形側溝	L形側溝	1種	250A 250B 300 350		

注) JIS A 5371 で、舗装・境界ブロックに属する平板及びインターロッキングブロックは、再生舗装用ブロックの評価基準により審査する。

旧

品目名：再生コンクリート二次製品

①評価対象資材

表3-1に掲げる製品の規格及び種類であって表3-2に掲げる再生資源を含有したJISでI類に区分される再生コンクリート二次製品を対象とする。

表3-1 再生コンクリート二次製品の規格及び種類

JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品

大分類	小分類	寸法・規格等	
舗装・境界ブロック類	境界ブロック	地先境界ブロック	A B C
		片面歩車道境界ブロック	A B C
		両面歩車道境界ブロック	A B C
ブロック式擁壁類	積みブロック	コンクリート用積みブロック（滑面、粗面）	A 長方形 250×400×350 mm A 長方形 300×450×350 mm

JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品

大分類	小分類	寸法・規格等				
暗きよ類	鉄筋コンクリートボックスカルバート	(単位：mm)				
		600×600	700×700	800×800	900×600	900×900
		1000×800	1000×1000	1000×1500	1100×1100	
		1200×800	1200×1000	1200×1200	1200×1500	
		1300×1300	1400×1400	1500×1000	1500×1200	
		1500×1500	1800×1200	1800×1500	1800×1800	
		2000×1500	2000×1800	2000×2000	2200×1800	
		2200×2200	2300×1500	2300×1800	2300×2000	
		2300×2300	2400×2000	2400×2400	2500×1500	
		2500×1800	2500×2000	2500×2500	2800×1500	
		2800×2000	2800×2500	2800×2800	3000×1500	
		3000×2000	3000×2500	3000×3000	3500×2000	
		3500×2500				
		マンホール類	マンホール側塊	マンホール側塊 斜壁	600A 600B 600C 600D 900 1200	
マンホール側塊 直壁	900A 900B 1200A 1200B 1500A 1500B					
路面排水溝類	U形側溝 (旧 JIS A 5345)	上ぶた式U形側溝 (本体)	1種	150 180 240 300A 300B 300C 360A 360B 450 600		
		上ぶた式U形側溝 (ふた)	1種	150 180 240 300 360 450 600		
			2種	150 180 240 300 360 450 600		
	L形側溝	L形側溝	1種	250A 250B 300 350		

注) JIS A 5371 で、舗装・境界ブロックに属する平板及びインターロッキングブロックは、再生舗装用ブロックの評価基準により審査する。

新旧対照表

新

旧

JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品 II類

大分類	小分類	寸法・規格等				
暗きょ類	鉄筋コンクリート台付管	標準	ゴム輪装着タイプ	150×1000	150×2000	200×1000
				200×2000	250×2000	300×1000
				300×2000	350×1000	350×2000
				400×2000	400×2500	450×2000
				450×2500	500×2000	500×2500
				600×1250	600×2000	600×2500
		3種	耐震性高性能ゴムジョイント埋込タイプ	700×2000	700×2500	800×2000
				800×2500	900×2000	900×2500
				1000×2000	1000×2500	1100×2000
				1100×2500	1200×2000	1200×2500
				1350×2500	1500×2500	1800×2500

表3-2 再生コンクリート二次製品の再生資源

骨材	1 コンクリート用スラグ骨材（高炉スラグ骨材） 2 コンクリート用スラグ骨材（フェロニッケルスラグ骨材） 3 コンクリート用スラグ骨材（銅スラグ骨材） 4 コンクリート用スラグ骨材（電気炉酸化スラグ骨材） 5 コンクリート用再生骨材H 6 コンクリート用再生骨材M 7 コンクリート用再生骨材L 8 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材
混和材	1 コンクリート用フライアッシュ 2 コンクリート用高炉スラグ微粉末 3 乾燥スラッジ微粉末
セメント	1 高炉セメント 2 フライアッシュセメント 3 エコセメント

注) ・エコセメントを用いた場合は、その全質量を含有率の算定に含めることができる。
 ・高炉セメントを用いた場合は、JIS R 5211 高炉セメントで示される種類ごとの高炉スラグの分量範囲内で使用する高炉セメントに含まれている高炉スラグの分量を含有率の算定に含めることができる。
 ・フライアッシュセメントを用いた場合は、JIS R 5213 フライアッシュセメントで示される種類ごとのフライアッシュの分量範囲内で使用するフライアッシュセメントに含まれているフライアッシュの分量を含有率の算定に含めることができる。

(略)

(略)

表3-2 再生コンクリート二次製品の再生資源

骨材	1 コンクリート用スラグ骨材（高炉スラグ骨材） 2 コンクリート用スラグ骨材（フェロニッケルスラグ骨材） 3 コンクリート用スラグ骨材（銅スラグ骨材） 4 コンクリート用スラグ骨材（電気炉酸化スラグ骨材） 5 コンクリート用再生骨材H 6 コンクリート用再生骨材M 7 コンクリート用再生骨材L 8 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材
混和材	1 コンクリート用フライアッシュ 2 コンクリート用高炉スラグ微粉末 3 乾燥スラッジ微粉末
セメント	1 高炉セメント 2 フライアッシュセメント 3 エコセメント

注) ・エコセメントを用いた場合は、その全質量を含有率の算定に含めることができる。
 ・高炉セメントを用いた場合は、JIS R 5211 高炉セメントで示される種類ごとの高炉スラグの分量範囲内で使用する高炉セメントに含まれている高炉スラグの分量を含有率の算定に含めることができる。
 ・フライアッシュセメントを用いた場合は、JIS R 5213 フライアッシュセメントで示される種類ごとのフライアッシュの分量範囲内で使用するフライアッシュセメントに含まれているフライアッシュの分量を含有率の算定に含めることができる。

(略)

(略)